

施策評価シート (平成25年度の振り返り、総括)

作成日 平成26年 04月 02日

施策 No.	5	施策名	道路ネットワークの整備
主管課名	建設課	電話番号	0285-84-8147
関係課名	都市計画課、区画整理課、環境課、商工観光課、企業誘致課、長田区画整理指導室		

施策の対象	市内の道路								
対象指標名	単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度見込
道路延長(市道)	km				1,274.1	1,274.8	1,275.9	1,279.2	1,281.2
道路延長(国県道)	km				160.0	161.6	159.9		

施策の意図	幹線道路の整備促進と道路網の整備を進め、効率的で機能的な道路交通体系を確立する。								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法(算定式など)	「市道道路改良率」及び「市道道路舗装率」は道路台帳による。 「都市計画道路整備率」は実施済延長/計画延長。 「国県道改良率」は栃木県県土整備部道路現況調書による。								
成果指標名	単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度基本計画目標値
市道道路改良率	%				72.1	72.4	72.5	72.6	83.1
市道道路舗装率	%				94.6	95.3	95.4	95.6	92.4
都市計画道路整備率	%				83.1	83.4	83.4	85.6	90.4
国県道改良率(真岡市分)	%				90.8	91.3	92.0		

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	住民は、事業への理解と協力を努める。 行政は、道路ネットワークを考慮した積極的な道路整備・促進に努める。
-------------------------	---

1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）

（1）施策成果の時系列比較（過去3年間の比較）

○市道延長は、平成23年度は改良予定道路等の認定のみで0.7kmの増加した。24年度は並木町一丁目ベシア真岡店付近の廃止路線があったため1.1kmの増加であった。25年度は市道289号線（大和田産業団地へのアクセス道路）等の改良予定道路の認定や一般県道高田筑西線の移管等により3.3kmの増加となった。

○市道改良率は、道路改良事業の実施に伴い平成23年度は東大島地内の市道2400号線や南高岡地内の市道2399号線等の改良により0.3%増加した。24年度は清水地内の市道103号線や伊勢崎地内の市道4180号線等の改良により0.1%の増加した。25年度は市道107号線（井頭西郷線）や本郷地内の市道6112号線等の改良により0.1%増加した。

○舗装率は、道路舗装新設事業により平成23年度は0.7%の増加であり、24年度は0.1%の増加、25年度は0.2%の増加であった。

都市計画道路整備率は、亀山北土地区画整理事業による亀山八木岡線が整備され、平成23年度は0.3%の増加であり、24年度は年度内での完成がほとんどなく前年度と同率であったが、25年度は2.2%の増加であった。

（2）近隣他市との比較。（平成24年度末比較）

・道路改良率（72.5%）は県内14市中6位、郡内では芳賀町（89.7%）、市貝町（82.0%）に次ぎ3位であった。

近隣他市：宇都宮市：79.9%、小山市：70.5%、下野市：63.9%

・舗装率（95.4%）は、県内14市中、宇都宮市につぎ2位、郡内の比較では1位であった。

近隣他市：宇都宮市：95.6%、小山市：91.7%、下野市：86.3%

・都市計画道路整備率（83.4%）は県内14市中1位であった。

近隣他市：宇都宮市：68.8%、小山市：69.8%、下野市：63.1%

（3）住民期待水準との比較

市民意向調査によると「道路の整備状況が良いと感じている市民の割合」は平成25年度で62.2%であり、前年度より0.1ポイント上昇した。道路改良事業や土地区画整理事業により、幹線道路や土地区画整理地内の生活道路の整備が進んでいる。しかし、市街化調整区域の生活道路の改良や舗装の整備については、市内各地から数多くの要望が出されている。（平成25年度末道路改良要望数157件、道路舗装要望件数132件）

25年度の
評価結果

2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括

（１）市道の整備推進

- ・市道107号線（井頭・西郷線）は、芳賀広域農道から国道121号までの区間1.5Kmが供用開始となり、主要地方道宇都宮真岡線から国道121号までの全線の整備が完了した。
- ・都市計画道路長田中線の延伸については、現況測量を実施し、道路線形決定に向けた地元との調整を図った。
- ・石島地内の大和田産業団地進入道路は、現況測量、土質調査を実施した。
- ・市道12路線の現況・用地測量、物件調査、道路改良工事等を実施した。
- ・20地区29路線の舗装工事を実施した。

（２）国道の整備促進

- ・国道294号は、平成25年度に鶴田工区の延長1,160mの交通安全施設（歩道）整備が完了した。八條工区については平成26年度の詳細設計、用地測量に向けた説明会が実施された。
- ・国道408号鬼怒テクノ通りは、主要地方道真岡上三川線から国道123号までの区間が供用開始となり、残る主要地方道真岡上三川線から国道294号までの真岡南バイパスについては、平成26年度の事業採択に向けた地元説明会と予備測量を実施した。

（３）県道の整備促進

- ・主要地方道栃木二宮線は、地元説明会と用地測量を実施した。
- ・主要地方道つくば真岡線は、高田工区の全長1,600mの整備が完了した。
- ・一般県道真岡岩瀬線は、小林工区の全長900mが完了した。
- ・一般県道西田井二宮線は、五行川二宮遊水地付近の道路改良工事を実施した。
- ・一般県道石末真岡線は、堀内地内の用地補償を実施した。
- ・一般県道物井寺内線は、物井地内の道路改良工事、舗装工事を実施し、全長1,500mの整備が完了した。

25年度の
評価結果

3. 施策の課題認識と改革改善の方向

(1) 市道の整備推進

- ・市道113号線（都市計画道路長田中線の延伸）の建設推進。
- ・市道289号線（大和田産業団地へのアクセス道路）の建設推進。
- ・市道18路線の現況・用地測量、物件調査、道路改良工事等の整備推進。
- ・17地区19路線の舗装工事の整備推進。
- ・老朽化した道路舗装の計画的な修繕。
- ・渋滞箇所の把握及び改善。

(2) 国道の整備促進

- ・国道408号鬼怒テクノ通り真岡南バイパス（主要地方道真岡上三川線から国道294号まで）の建設促進。
- ・国道294号の4車線化整備促進（久下田、石島、寺内）。

(3) 県道の整備促進

- ・主要地方道栃木二宮線の建設促進。
- ・一般県道西小埜真岡線道路改良促進（島、小林、根本）。
- ・一般県道西田井二宮線の整備促進。
- ・一般県道石末真岡線の整備促進（芳賀広域農道から一般国道121号までの1.4Km、及び芳賀広域農道から真岡市中郷・萩田土地区画整理事業区域境までの1.5Km）。

25年度の
評価結果

補足事項